

開講年度・学期	2017年度・通年	授業形態	演習
科目名	専門演習（刑法）	科目ナンバー	JASEM3303
英語表記	Seminar on Criminal Law	担当教員	金澤 真理
単位数	4		
科目の主題			
刑法理論の探究			
授業の到達目標			
論文読解、判例学習並びに討論を通じて、実体刑法の解釈、政策立案につながる実践的思考力を身につけることを目的とする。			
授業内容・授業計画			
<p>1 刑法に関連する判例や論文の分析・検討を討論形式で行う。ゼミの初回に報告担当者を決定し、報告者により提示された論点につき、全員参加で討論を行う。判例等の選択に関しては、報告者の選択を尊重するが、参加人数等の関係で担当教員から指示することもあり得る。</p> <p>2 刑事施設等の調査研究を通じて司法実務、矯正実務の実態に触れ、問題点の抽出、法的・政策的側面からの提言の可能性につき考究する。05年度は、山形刑務所と更生保護施設、06年度は少年院の見学を実施した。</p> <p>3 ゼミ員各自の関心あるテーマにつき、レポートを作成する。このレポートと演習における討論への取り組みを総合して単位を認定する。</p> <p>4 無断欠席、報告の忌避があった場合には、単位を認定しない。</p>			
事前・事後学習の内容			
演習内容に合わせ、そのつど指示する。			
評価方法			
担当部分の報告および討論参加態度を評価の対象とする。			
受講生へのコメント			
精緻な刑法理論を、理屈に合わないことの多い人間社会にあてはめることは大変な作業ではあるものの、知的な冒険でもあります。イマジネーションを働かせ、言語感覚を養って学習に励んで下さい。			
教材			
特に指定しない。演習内容に合わせ、そのつど指示する。六法必携			
その他			
「演習論文」の単位の登録が必要である。			
履修可能最低年次			
3年次生以上			